

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年2月9日(2017.2.9)

【公開番号】特開2015-159895(P2015-159895A)

【公開日】平成27年9月7日(2015.9.7)

【年通号数】公開・登録公報2015-056

【出願番号】特願2014-35725(P2014-35725)

【国際特許分類】

A 6 1 L	27/00	(2006.01)
A 6 1 K	35/12	(2015.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 K	35/28	(2015.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)

【F I】

A 6 1 L	27/00	V
A 6 1 K	35/12	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 L	27/00	Q
A 6 1 L	27/00	Z
A 6 1 K	35/28	
A 6 1 P	43/00	1 0 7
A 6 1 P	25/28	

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月21日(2016.12.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

生体の間葉系組織又は培養間葉系細胞から分離されたSSSEA-3陽性の多能性幹細胞を含む、脳梗塞を治療するための細胞製剤。

【請求項2】

脳梗塞後の後遺症を予防及び/又は治療するための、請求項1に記載の細胞製剤。

【請求項3】

外部ストレス刺激によりSSSEA-3陽性の多能性幹細胞が濃縮された細胞画分を含む、請求項1又は2に記載の細胞製剤。

【請求項4】

前記多能性幹細胞が、CD105陽性である、請求項1~3のいずれか1項に記載の細胞製剤。

【請求項5】

前記多能性幹細胞が、CD117陰性及びCD146陰性である、請求項1~4のいず

れか 1 項に記載の細胞製剤。

【請求項 6】

前記多能性幹細胞が、 C D 1 1 7 陰性、 C D 1 4 6 陰性、 N G 2 陰性、 C D 3 4 陰性、 v W F 陰性、 及び C D 2 7 1 陰性である、 請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の細胞製剤。

【請求項 7】

前記多能性幹細胞が、 C D 3 4 陰性、 C D 1 1 7 陰性、 C D 1 4 6 陰性、 C D 2 7 1 陰性、 N G 2 陰性、 v W F 陰性、 S o x 1 0 陰性、 S n a i 1 陰性、 S l u g 陰性、 T y r p 1 陰性、 及び D c t 陰性である、 請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の細胞製剤。

【請求項 8】

前記多能性幹細胞が、 以下の性質の全てを有する多能性幹細胞である、 請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の細胞製剤：

- (i) テロメラーゼ活性が低いか又は無い；
- (i i) 三胚葉のいずれの胚葉の細胞に分化する能力を持つ；
- (i i i) 腫瘍性増殖を示さない； 及び
- (i v) セルフリニューアル能を持つ。

【請求項 9】

前記多能性幹細胞が、 神経細胞、 グリア細胞、 血管内皮細胞、 及び / 又は ミクログリア からなる群から選択される 1 つ以上の細胞に分化する能力を有する、 請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の細胞製剤。